

5月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年5月末現在〕

令和2年6月11日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると「景況」は回復し、「収益状況」は変化がなく、「売上高」は悪化した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」は変化がなかったが、「売上高」「収益状況」は悪化した。非製造業では、「景況」「収益状況」は回復したが、「売上高」は変化がなかった。2月から新型コロナウイルスの影響で製造業・非製造業共に指標悪化が続いていたが、5月は当県の緊急事態宣言解除等により非製造業の数値は前月比で若干回復した。

景況DI

製造業は、前月比で変化なしの-80.8ポイント、非製造業は、前月比12.5ポイント改善の-62.5ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-72.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比11.6ポイント悪化の-88.5ポイント、非製造業は、前月比で変化なしの-62.5ポイント、全体では、前月比6.0ポイント悪化の-76.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比7.7ポイント悪化の-84.6ポイント、非製造業は、前月比8.3ポイント改善の-62.5ポイント、全体では、前月比で変化なしの-74.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
食料品	パン	当月は組合員にとって史上最大で最悪な状況。コロナ禍の早期終息を願う。国・県等の支援策においてはスピードが最も重要だが、全くスピード感がない。今現在必要とされている資金の調達がなされておらず、国・県・自治体に振り回され続けている。
	味噌	新型コロナウイルスの影響で組合員の直売店の来店客数が減少し、味噌作り教室等の開催も中止せざるを得ず、業況が悪化している。
	酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県4月の清酒課税移出数量は、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、清酒全体で対前年同月比63.9%であった。本格焼酎についてはさらに減少し、同34.6%の大幅減少となった。清酒については、飲食店が午後7時以降の酒提供を自粛した影響を受け、全体量の半分近くの一般酒が同51.4%と大きく減少した。6月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響もあり、さらに落ち込みが大きくなると予測される。清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックにより落ち込みが大きく、4月の輸出数量（全国ベース）は同52.3%と大幅に減少した。輸出の回復には時間がかかる見通し。 ○県内当業界について 新型コロナウイルスの感染拡大による飲食店の夜間営業の休業要請と会合の自粛もあり、蔵元の清酒の出荷は大幅に減少。緊急事態宣言解除後も第二波・第三波の懸念から早急な需要の回復は見込みが薄い。この状態が長引くと、財務弱体な会社の事業継続に懸念が出てくる可能性が大きい。
	納豆	新型コロナウイルスの影響により、観光土産品を製造している組合員の売上は、前年同月比80%以上減少。助成金等の支援策をお願いしたい。一般消費者向けは、売上高が増加しているものの、いつまで続くか先行が不安である。
	菓子	新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により業況悪化。給付金等の支援を受け、現況を凌いでいる。
	漬物	4月同様、新型コロナウイルスの影響が生じている。
繊維工業	織物	紬制作の工程において、材料である糸紡ぎをするときに唾液を糊代わりに使うため、新型コロナウイルスの影響は大丈夫なのかと組合員から心配の声があった。
	袋物	過去に例を見ないほど業況が悪化している。仕事が完全になく組合員が何社もある。
	衣服	新型コロナウイルスの影響により、仕事がなく休業する組合員が出てきている。
木材・木製品	製材	・製材品の販売量は大幅に減少。 ・外材も新型コロナウイルスの影響が続いている。 ・住宅着工戸数も新型コロナウイルスにより状況がさらに悪化した。 ・建材関係は依然として資材調達が遅れている。
	県北地区プレカット	4月よりは回復したものの、売上は前年同月比減少の状況が続いている。まだまだ先が見えない。
	県央地区プレカット	着工の延期・計画の見直し等の影響により加工量が前年同月比20%減少。見積物件も減少していることから、来月以降さらに加工量が減少する恐れが出てきている。
紙・紙加工品	段ボール	大手も売上高は前年同月比約10%前年割れの状態で、中小は同約20～30%減少ならまだいい方だと聞かれる。県外では廃業する企業やM&A等の話が日々聞かれる。
印刷	総合	4月以上に新型コロナウイルスの影響を受け、前年同月比で売上高減少・収益状況悪化・資金繰り悪化となった。持続化給付金等の申請を組合員企業ごとに行っている。5月下旬からようやく沈静化の兆しが見えるが、まだまだ予断を許さない。組合員からは、「これ以上売上高減少の状況が長引けば経営が成り立たない」というような切実な声が聞かれる。
化学・ゴム	自動車部品	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	新型コロナウイルスの影響により受注量が減少し、厳しい状況が続いている。
		コンクリート製品	売上高は例年よりも1割程度減少しているが、ここ数年の傾向か新型コロナウイルスの影響かは判断できない。
		焼物	新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか。人々が従来通り外出してもすぐには景気は戻らないと考えられる。秋に組合のイベントが開催できなければ、業界の先行きに大きな不安が生じる。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	売上高・収益状況とも前年同月比30～40%の減少であった。特に自動車部品関連は例年の半分以上に減少。機械部品・建築資材も20～30%程度の減少傾向である。半導体製造装置関係は大きく減少している。燃料等の価格は下落。亜鉛・ニッケル金属の価格は下落してきたが、貴金属等は高値で推移している。工業用薬品価格は大きな変化はない。
	一般機器	精密機器	新型コロナウイルスの影響で受注量が減少している。
		工業団地	対象7組合員（製造会社）の売上状況は、前年同月と比較してすべて減少となった。全体増減率は前年同月比57%であった。コロナ禍による需要蒸発は深刻で、前月より一段と売上高が減少し、売上高が前年同月比で半分未満となった組合員が過半数を占めた。特に輸出関連部品を製造する組合員の落ち込みがひどい。組合員の業況悪化に伴い組合の賦課金も大幅に減額となり組合事業の縮小を余儀なくされている。
	電気機器	重電	
	輸送機器	自動車部品	新型コロナウイルスの影響で、全てが逆風の状態。
		輸送車両	
	その他の製造業		
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比5.39%減少。鮮魚等の入荷が増加する時期で販売単価は下落しているが、新型コロナウイルスの影響で販売に苦慮している。外出自粛が解除され多少改善したものの、仲卸業者・買受人は販売不振が続いている。特に宿泊施設・宴会場等を運営している買受人は休業状態である。
		県南地区卸	日用品雑貨については、ティッシュ・トイレットペーパー・マスクについて新型コロナウイルスの影響等により商品の仕入が大幅に遅れる等したため、売上高減少。需要の停滞はあるものの全体的には不変である。
		食品卸	野菜・果実合計で前年同月比109%の取扱高となった。5月上旬は暖冬の影響による前進傾向や4月下旬の低温が響き価格の上昇が見られたが、ゴールデンウィーク明けの5月中旬以降からは天候回復と気温の上昇により相場は落ち着いた。販売面では、引き続き新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で家庭での消費量が増加しており、スーパー等の量販店が好調となった。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は前年同月比4%増加となったが、変わらず低位水準の状況が続いている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	売上高は前年同月比85.3%、客数は同95.5%となった。緊急事態宣言解除を受けて営業を再開した店舗についても客足が戻らない。先行きに不安を感じる。
	県央地区共同店舗	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、営業時間を短縮している店舗や自主休業を行う店舗があり、売上を上げることができない環境下でない。緊急事態宣言解除を受け、顧客も日常に戻りつつあるが、本来の楽しんで買い物ができる店作りやイベントでの集客の目途が立たないため厳しい状況にある。ただ物売るだけの時代とは違い、顧客に提案を行う店作りに戻すためにはしばらく時間がかかる。
	県南地区共同店舗	売上は前年同月比で、全体80.5%、衣料品53.7%、文化品61.9%、食料品86.8%、飲食102.8%、サービス64.9%となった。 とにかく新型コロナウイルスの影響が大きく、一部持ち帰り中心の飲食・食料品以外は苦戦。緊急事態宣言解除後も客足が戻らない。また、4・5月分の家賃収入も厳しく、組合の資金繰りが悪化している。
	クレジット	
	家電	新型コロナウイルスの感染拡大、組合員の安全・健康を考慮し、行事等を全て中止。業界を取り巻く環境は想像を超える厳しさ。経営を維持できるのか不安である。
	石油	緊急事態宣言が発令されて以降、国民の外出自粛が続きゴールデンウィークも自動車の交通量は少なく、それに伴い売上高は減少。しかし、国からは石油製品の供給持続要請があり営業は継続した。5月から原油価格が上昇し仕入価格も上昇したが、売上高減少を恐れて価格は上げられない状況。5月25日に緊急事態宣言が解除となり、自動車の交通量が増加しているのを感じるが、新型コロナウイルス感染の第二波についても対応の検討が必要。
	農機具	
	中古自動車	コロナ禍により、販売台数が前年同月比84.4%、販売価格が同92.5%と減少し、売上高も同78.1%と大きく減少した。新車販売の低迷により流通車が減少するとともに来店者数が減少傾向にあるため、厳しい小売環境が続いている。
	飲食品	新型コロナウイルスの影響は依然として出ているが、当組合は食品流通小売業のため組合員の状況は比較的好調で継続推移。品薄だった部門も改善がみられ、落ち着いてきている。今後の新型コロナウイルス第二波に向けての感染拡大防止をしながら、商売を継続していきたい。7月よりレジ袋が有料化されることへの対応やキャッシュレス還元事業が終わるので、今後の売上への影響を注視していく。
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスの影響により全てにおいて減少・悪化している。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、前年同月比で普通車が85.9%、軽自動車が88.8%となり、普通車・軽自動車ともに減少となった。
	ホテル・旅館	ゴールデンウィーク期間中もしくは4月から休業を継続している組合員が多く、収入が得られない中での企業存続が困難となっている。 県西・県南エリアは逆の状況にあり、一時休業の組合員は少数。宿泊者は減少しているものの、ビジネス系に限り継続して宿泊者が得られている組合員もいる。
建設業	総合	例年と比較して特に大きな変化はない。新型コロナウイルスによる経営への大きな変化は無いが、建設業界は現場施工による業務がほとんどであるためテレワークによる在宅勤務が難しい。また、会社及び現場の事務作業を在宅で行うことは技術的には可能であるが、現実的には難しい。IoT化は大型施工にて試験的に行われているが、現在は現場・事務所の在宅勤務に向けたIoT化はほとんど進んでいない。今回の新型コロナウイルスの危険を避ける対策はできていないに等しい。
	電気工事	新型コロナウイルスの影響は今小さいが、今後は大きくなると思われる。
	管工事	
	交通安全施設	
	型枠工事	4月に引き続き、新型コロナウイルスの影響で売上高が減少し、収益状況や資金繰り面が悪化している。新型コロナウイルスがいつになったら消滅するか分からないので、経営者は不安でいっぱいである。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和2年5月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	運輸業	貨物軽自動車運送 当月の組合員数は115名、車輛台数は145台で前月と比較して1人増加、1台増加となった。また、全国連合会での当月の組合員数は7,748名、車輛台数は9,190台で前月と比較して17名減少、15台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客を含め全体的に出荷物量は減少し、それに伴い売上高も減少。燃料価格は安くなったが、売上高減少をカバーはできず、収益はますます厳しい。
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	緊急時には、行政の施行・手続きも緊急時の対応をお願いしたい。
	酒	全ての酒類業者が新型コロナウイルスによる重大な経済的被害を受けており、今後の経営継続に懸念が生じている。行政としての支援を強化していただきたい。
	納豆	一刻も早く支援を早急をお願いします。
	漬物	資金繰りに対する支援のスピードある対応
鉄鋼・金属	鍍金	売上高の減少に伴う資金繰りの悪化が懸念される。企業継続のための助成金並びに融資等の拡充が早急に望まれる。
小売業	クレジット	組合経営悪化。組合に対する支援をお願いしたい。
	石油	・揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。 ・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償。 (申請書類が煩雑で申請しにくいとの意見があり、石油協会の融資に変更)
建設業	総合	建設現場では新型コロナウイルス感染をマスク程度の対策で乗り切っているが、三密の状態であることに変わりない。今回のような感染症蔓延による現場作業員の感染予防に対する公的対策とそれに伴う経済的な支援策の検討をお願いしたい。

月次景況調査 5月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比	5月	4月	前月比
景 況	▲ 72.0	▲ 78.0	6.0	▲ 80.8	▲ 80.8	0.0	▲ 62.5	▲ 75.0	12.5
売 上 高	▲ 76.0	▲ 70.0	▲ 6.0	▲ 88.5	▲ 76.9	▲ 11.6	▲ 62.5	▲ 62.5	0.0
収 益 状 況	▲ 74.0	▲ 74.0	0.0	▲ 84.6	▲ 76.9	▲ 7.7	▲ 62.5	▲ 70.8	8.3
販 売 価 格	▲ 12.0	▲ 4.0	▲ 8.0	▲ 7.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7
取 引 条 件	▲ 32.0	▲ 32.0	0.0	▲ 34.6	▲ 38.5	3.9	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 4.2

中小企業月次景況調査(令和2年5月)DI値(前年同月比)

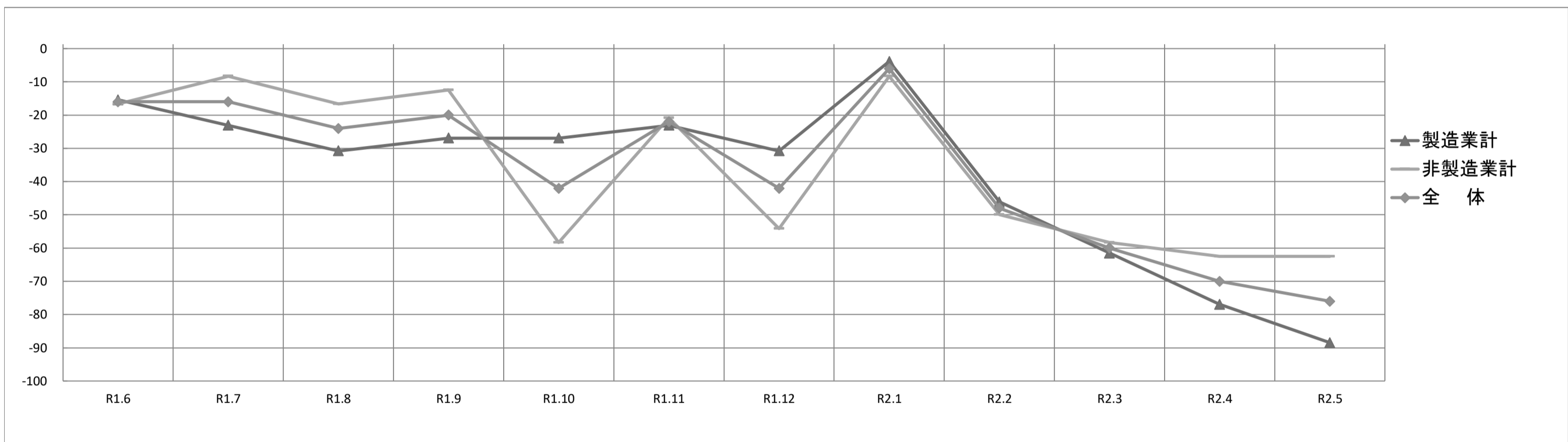
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況																	
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)																		
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数											
製造業	食料品	△ 83.3	0	1	5	6	16.7	1	5	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 66.7	0	2	4	6	△ 83.3	0	1	5	6	△ 50.0	0	3	3	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 66.7	0	2	4	6				
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3				
	木材・木製品	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	0.0	0	3	0	3	△ 100.0	0	0	3	3				
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	窯業・土石製品	△ 60.0	0	2	3	5	20.0	1	4	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 60.0	0	2	3	5				
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1				
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2				
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1				
	輸送機器	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2				
製造業計	△ 88.5	0	3	23	26	△ 15.4	3	16	7	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 34.6	0	17	9	26	△ 84.6	0	4	22	26	△ 69.2	0	8	18	26	△ 57.7	0	11	15	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 80.8	0	5	21	26					
非製造業	卸売業	25.0	2	1	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	X	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4								
	小売業 (商店街含む)	△ 63.6	2	0	9	11	△ 27.3	1	6	4	11	△ 27.3	0	8	3	11	△ 54.5	0	5	6	11	△ 81.8	0	2	9	11	△ 81.8	0	2	9	11		△ 81.8	0	2	9	11	△ 81.8	0	2	9	11								
	サービス業	△ 100.0	0	0	2	2	X	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1		2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2							
	建設業	△ 100.0	0	0	5	5		0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1		5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5							
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2		0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1		2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2							
	非製造業計	△ 62.5	4	1	19	24		△ 20.0	1	10	4	15	△ 16.7	1	18	5	24	△ 29.2	0	17	7	24	△ 62.5	1	7	16	24	△ 54.2	0	11	13		24	△ 54.2	0	11	13	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 62.5	0	9	15	24		
全体	△ 76.0	4	4	42	50	△ 17.1	4	26	11	41	△ 12.0	2	40	8	50	△ 32.0	0	34	16	50	△ 74.0	1	11	38	50	△ 62.0	0	19	31	50	△ 62.0	0	19	31	50	△ 57.7	0	11	15	26	△ 16.0	0	42	8	50	△ 72.0	0	14	36	50

D I 値推移表 (R1.6月 ~ R2.5月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
食料品製造業	▲ 66.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	0.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0
製造業計	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5
卸売業	▲ 100.0	25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	20.0	0.0	40.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5
全体	▲ 16.0	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0

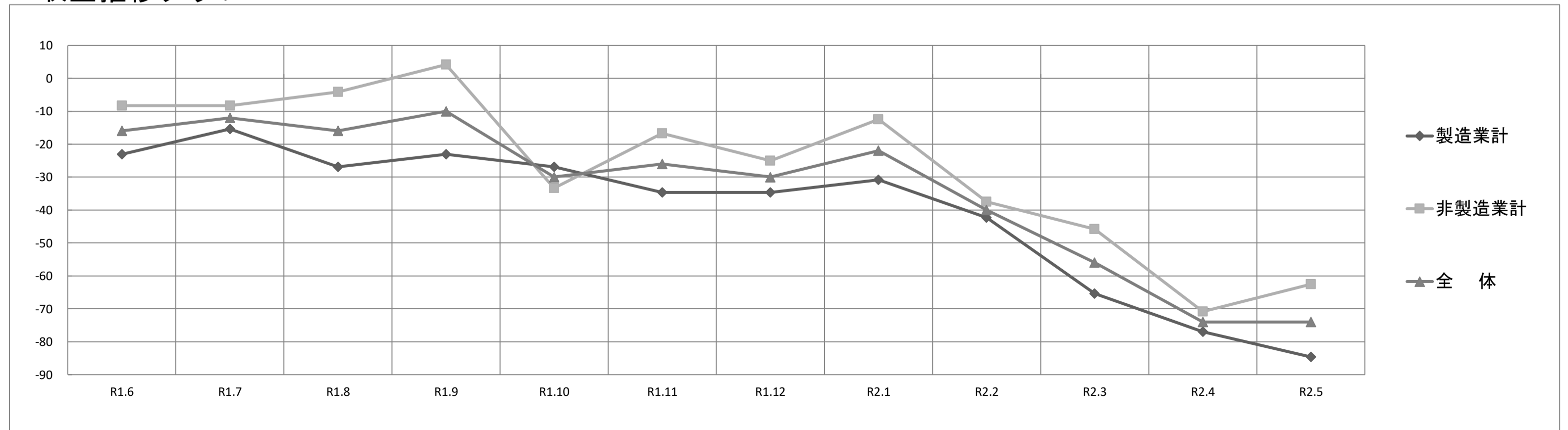
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0
製造業計	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 9.1	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5
全体	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 10.0	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0

《収益推移グラフ》

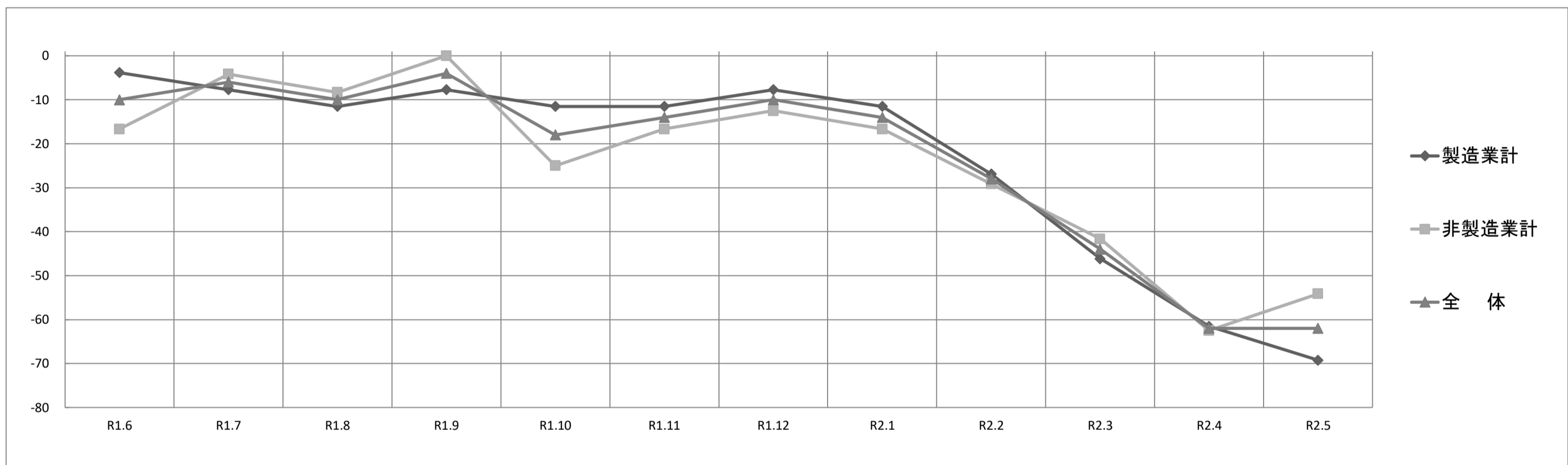


D I 値推移表 (R1.6月 ~ R2.5月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
食料品製造業	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0
製造業計	▲ 3.8	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2
卸売業	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 8.3	0.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2
全体	▲ 10.0	▲ 6.0	▲ 10.0	▲ 4.0	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5
食料品製造業	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0
製造業計	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0
小売業(商店街含む)	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8
サービス業	50.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
建設業	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5
全体	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0

《景況推移グラフ》

